



今月号では「プラスチック製容器包装」の正しい出し方と処理の流れを紹介します。

異物(違うごみ品目)の混入による事故を防ぐために、再度プラスチック製容器包装の出し方を確認します。

### プラスチック製容器包装とは？

購入した商品が入っていたプラスチック製の**容器(入れもの)**や**包装(包んでいるもの)**です。



対象のものの中には「プラ」マークがついています。



- ①プラマークがあるか確認する
- ②水で軽くすすいで汚れを取り除く

### 注意 捨てる前にもう一度確認を！！

プラスチック製容器包装の中に、違うごみ品目がないかももう一度確認しましょう。同じプラスチックでできているものでも、**分別が異なるもの**があります。

例



タッパー スプーンなど しゃもじ バケツ

「製品」はプラスチック製容器包装に該当しません。

「燃やせるごみ」



に出しましょう。

### 在宅医療で出たごみの出し方

- 鋭利なもの、感傷性があるもの  
注射針→ごみとして出せません。
- 鋭利でないもの  
針以外の注射器本体、チューブ、カテーテル(針は取って)、ストーマ器具  
コロナ検査用キット  
→燃やせるごみ

例



翼状針 インスリン注射器

医療機関へ返却してください

例



チューブ 針以外の注射器 コロナ検査用キット

- 「プラ」マーク があるもの→プラスチック製容器包装



## プラスチック製容器包装の処理について

収集されたプラスチック製容器包装は、はじめに「手選別」を行い異物を取り除きます。

手選別を終えたものは、圧縮梱包機で「ベール品」と呼ばれる一つの塊にした後、ベール品はリサイクル工場に渡され、新たな製品になるための原料になります。

### ⚠ 異物の混入は作業員にとって危険です！ ⚠

包丁やひげそりの刃、ライターなどが手選別中に出てきています。手選別中に包丁やひげそりの刃で手を切ってしまうたり、注射針が刺さってしまう事故が起こる可能性があります。



### 手選別からベール品になるまで



異物の混入が多く品質が良くないベール品は、適正なりサイクルができません。

ひとりひとりが分別をきちんとすることで、手選別の負担軽減や高い品質を維持することができます。



チェック ✓

Think ECO の  
バックナンバーを見ることができます！



【家庭ごみに関するお問い合わせ先】  
市役所 市民環境部 廃棄物対策課 ☎：(代表) 0126-23-4111 (内線2141、2142、2143)  
(直通) 0126-35-4395